

平成27年（1月～8月速報値）の労働災害発生状況の分析

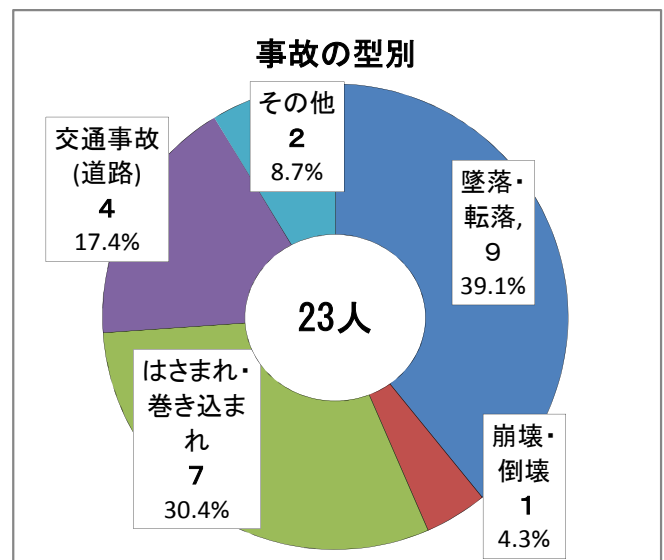
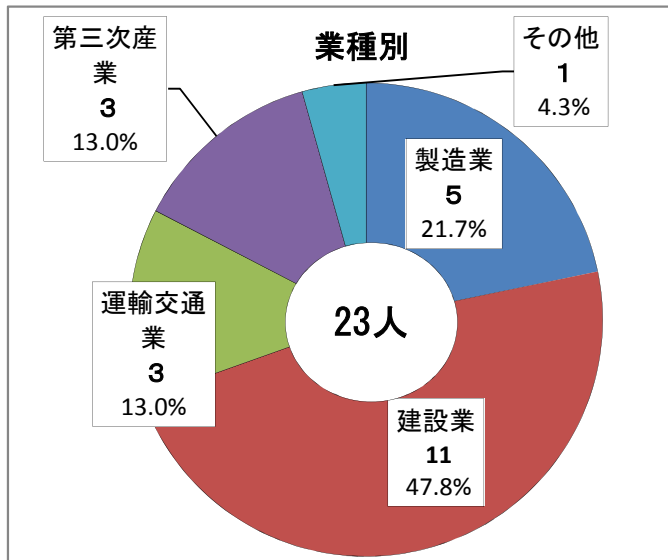
静岡労働局

1 死亡災害（9月15日現在）

全産業における死亡者数は、23人で、前年と同数。

業種別で見ると、建設業11人(47.8%)、製造業5人(21.7%)、運輸交通業3人(13.0%)、第三次産業3人(13.0%)、その他1人(4.3%)の順で災害が多発している。

事故の型別で見ると、「墜落・転落」9人(39.1%)、「はさまれ・巻き込まれ」7人(30.4%)、「交通事故(道路)」4人(17.4%)、「崩壊・倒壊」1人(4.3%)、「その他」2人(8.7%)の順で災害が多発している。



2 死傷災害（休業4日以上）

全産業における死傷者数は、2333人で、前年同期に比べて88人(3.9%)増加している。

業種別で見ると、第三次産業874人(37.5%)、製造業810人(34.7%)、運輸交通業289人(12.4%)、建設業254人(10.9%)、その他106人(4.5%)の順で災害が多発している。

事故の型別で見ると、「転倒」526人(22.5%)、「墜落・転落」393人(16.8%)、「はさまれ・巻き込まれ」360人(15.4%)、「動作の反動・無理な動作」238人(10.2%)の順で災害が多発している。

